

事業所名

クローバーよつばのいえ笠之原

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人理念	クローバーよつばのいえ、笠之原では ◇明るい笑顔の子どもを育てます。 ◇感性豊かな子どもを育てます。 ◇仲良く元気な子どもを育てます。		
支援方針	障がいのあるお子さまに、日常生活に必要な動作や集団生活の中で適応できる力を身につけてもらう事を目的とし、指導させていただきます。 個々の発達段階や課題に応じ、ご家族様と相談しながら、お子さまに合わせた個別療育を行います。 個別・集団の療育を通じて、それぞれの苦手なところを少しずつ克服し、笑顔ある感性豊かな子どもを育てます。 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。		
営業時間	授業終了後：11時から18時15分 学校休業日：10時から16時30分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康な生活習慣の促進や日常生活における基本的な動作や自立を促す。 ・定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握） ・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） ・身だしなみ、トイレ排泄など身辺自立の向上	
	運動・感覚	自分の身体の使い方を意識し ・走る、跳ぶ、押す、引っ張るなど全身運動 ・手先を使う工作等 ・ダンス、体操、体幹トレーニング等	
	認知・行動	利用時の支援内容を時間の流れに沿ってルーティンとなるように整えていく。 ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認 ・ブロックや立体を使った遊びによる空間把握 ・集団内での適切な行動を理解する為のグループ活動 ・季節への興味、関心が持てるような行事等	
	言語 コミュニケーション	身振り手振りや表情等、自分なりの表現で環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 ・帰りの会で司会や発表を担い、適切に表現できるよう支援 ・絵カード、学習ツール等で障害の特性に応じた読み書きや相手への伝え方の向上を支援 ・クイズ、伝言ゲーム等で質問の仕方や伝え方などのコミュニケーション能力の獲得を支援	
	人間関係 社会性	定期的に支援を継続することで、家族以外の人との信頼関係を築く。 ・デイでの生活を通して他者とのかわり方を学んでいく ・トラブルが起きたときの問題解決や感情のコントロールの仕方を支援 ・それぞれに役割を決め、取り組むことで社会生活に必要なスキルを磨いていく	
家族支援	送迎時等の際に行う日々の報告。 個別支援計画とは別途に依頼があれば随時面談を実施。	移行支援	卒業後やその他、移行先にスムーズに移行ができるよう、関係機関との連携を図り、調整を行い保護者の相談等に応じる。
地域支援・地域連携	各関係機関との連携を強化することや近隣の方々の協力を仰ぎ、ライフステージにおいて切れ目のない支援や、身近な地域の中で安心して暮らせるよう支援する。	職員の質の向上	研修、ミーティングの機会を積極的に設け、教育の充実を図り職員の療育水準の継続的な向上に努める。
主な行事等	防災訓練・夏祭り・ハロウィンパーティ・クリスマス会・誕生日会・外出イベント		